

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《和田町ナーサリー》	種別：認可保育所
代表者氏名：手塚 貴子	定員（利用人数）：60名（57名）
所在地：横浜市保土ヶ谷区仏向町119	
TEL：045-348-2770	ホームページ： https://www.starchild.jp/nursery
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2021年（令和3）4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：8名
専門職員	施設長：1名 調理員：3名
	保育士：14名 事務員：1名
	栄養士：1名
施設・設備の概要	（居室数） 6室 （設備等） 園庭、事務室、調理室、多目的トイレ、乳・幼児トイレ、職員休憩室・更衣室等

③理念・基本方針

保育理念

わたしたちは、子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します。

保育方針

- ・良く考え、心身ともにたくましい子（子どもの自立と挑戦を支援します）
- ・個性の豊かな子（子どもたちの個性を尊重し、長所を伸ばします）
- ・やさしさと思いやりのある子（社会性＝人とかかわる力を身につけます）

④施設・事業所の特徴的な取組

光・風・香りを感じることが出来る明るさに包まれた保育園で、東側の開口から入った自然な光と風が園全体に行き渡ります。
明るめの木材をふんだんに取り入れ、やわらかい色使いをすることで光が直接的に入るのではなく、素材を通して穏やかな明るさを子どもたちに届けます。
さらに、屋上にある太陽光発電設備も光を通した子どもたちの学びの場になっており、室内にいても季節の光や風、そして香りを感じる快適な空間になっています。
使いやすい広さの園庭は0歳児から楽しむことができ、それぞれの年齢にあった遊びを展開できます。
砂場上部には日よけ設備もあり、日差しを気にせず、じっくりと砂遊びに取り組むことが出来ます。
散歩や園外に出かけると近隣の方が気軽に声をかけて下さり、皆様に優しく見守って頂いています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月2日（契約日） ～ 2024年1月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特徴】

◆子どもたちが自主的に行動し、自分のやりたいことや言いたいことを表現できるよう援助しています

職員は、日常の保育の中で、いつもと子どもの様子が違うと察するとすぐ子どもの所に行き「どうしたの？」と声掛けして話を聴いています。子どもの気持ちを汲み取りながら、子どもが次に何をするのか指示するのではなく、子どもが考えて動けるよう言葉をかけしています。また、生活習慣を身につける場面では、一人ひとりに合わせ、子どもが自分からやりたくなるような言葉掛けや援助をし、子どもの様子を見て「手伝っていい」と出来ないところを援助しています。保育士は、日々の生活で子どもたちが次にやる事は何か理解できる分かりやすい言葉で伝え、子どもが意欲的に行動できるよう工夫しています。2歳児クラスでは、朝の会で「トイレに行って、外でいっぱい遊んで、お腹がすいたら美味しい給食食べようね」と言う保育士の声かけで、楽しそうに自分から帽子を取りに行く姿が見られます。幼児クラスになると子どもたちは、一日の流れをつかみ、行動できるようになっています。保育士は、子どもたちに、疑問を投げかけることで、自分たちで調べたり、観察したりと遊びが発展するよう援助しています。保育士は常に「どうしたい？」と子どもの思いを聞くように心掛け、子どもから声が出た後も「じゃあどうする？」と答えを先に言わず、子どもが考えるように関わり、子どもが意欲を持って取組めるよう支援しています。

◆保育士間の良好な連携のもと、円滑に園内の情報を共有しています

保育士は、一人ひとりの子どもの様子を見て行動し、戸外遊びなど子どもから目を離せない場面では連携して丁寧に子どもと関わっています。クラスミーティングを実施して、日々の子どもの発達と状況を把握し、カリキュラム会議では情報共有することで全職員に周知しています。また、毎日の5分間ミーティングでその日の共有すべきことを各クラスから出し合うことで情報を共有し、状況を周知しています。毎日の記録は必ず目を通すように事務室に置いています。更に、気になる時は午睡時などを使って相談したり、話し合ったりできる風通しの良い関係であるよう努めることで、全ての子どもの状況を理解するよう努めています。

◆保護者の信頼に応えられるよう保育の質の向上に努めています。

法人は、現場を把握している法人の施設支援担当者がマニュアル担当チームを編成して、各種マニュアルの作成や法改正などに従って改訂を行っています。また、園は、園の状況に合わせた独自のマニュアルを作成して職員に周知しています。職員は、マニュアルを確認することで同じ方針で保育を実施できる拠り所にもなっています。更に、毎月の園内研修の他、職員は、年3回の保育スキルや業務姿勢などの法人研修と年1項目のキャリアアップ研修の受講をすることになっています。受講歴は、保護者の目に留まりやすい所に掲示して保護者の信頼を得る手段となっています。職員は、研修を日々の保育に役立て、子どもとの関わりや興味に繋がる取組を実施できるようにしています。園は、保護者アンケートの意見から、外遊びや散歩を指導計画に取り入れ積極的に実施するなど、すぐ対応して保育の改善に努めています。

【今後期待される点】

◆さらなる地域子育て支援・地域交流を期待します

園は、園庭開放や育児講座、交流保育と子育て支援事業を実施し、子育て世帯の参加があり、少しずつ周知されてきています。また、近隣の方から沢山のまつぼっくりをもらい、クリスマスの制作に活かし、玄関ホールに展示しています。散歩の際は、地域の方から挨拶や声掛けをしてもらう光景も見られます。今後は、さらに子どもたちのために地域を巻き込んで園生活が一層楽しくなる取組の充実に期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2021年4月に開園したスターチャイルド《和田町ナーサリー》は、3年目を迎えた2023年12月に第三者評価を受審しました。

勤務するすべての職員で自己評価に取り組み、ひとつひとつの項目を丁寧に確認していく中で、日々の運営や保育について改めて目を向け、話し合い、改善への検討が出来たことは何よりの学びになりました。同時に職員間の共通理解・連携が今まで以上に深まり、大変良い機会にもなりました。

コロナ禍で開園した為、子育て支援事業など地域の皆様との関わりが思うようにいかなかったのですが、今年度より少しずつ交流が出来るようになりましたので、「地域に広く知られ、地域に根付いた保育園」を継続の課題とし、さらに目指していきたいと思えます。

これからも「子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践する」スターチャイルドの保育理念を第一義にしながら、笑顔溢れる園であるように、職員一同、一生懸命取り組んでまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり